豪日交流基金助成オーストラリア学会主催

2009 年度第三回　同志社大学学生、大学院生のための

特別公開講演会

２００９年度の豪日交流基金による同志社大学公開講座を下記のとおり開催いたしますので、奮ってご参加くださいますよう、ご案内いたします。ご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

講演テーマ：“The Persuasive Powers of History in Modern Political Speech”
講演者：Professor David Lowe
（オーストラリア、ディーキン大学教授、アルフレッド・ディーキン研究所所長）
コメンテーター：五十嵐正博（神戸大学大学院教授）
司会：藤川隆男（大阪大学教授）

日時：7 月 18 日（土曜日）１４：００～１７：００
場所：同志社大学今出川校地　至誠館会議室
（アクセスマップ）　http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html
（キャンパスマップ）http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html
＊　講演会では質疑応答の時間を設定　　＊17：30 より懇親会
＊　通訳付き　　＊問い合わせ先：有満保江 yarimitu@mail.doshisha.ac.jp

～～～～講演要旨～～～～

2009 年 1 月にアメリカ合衆国大統領に就任したバラク・オバマ。彼には、歴史的に知られた言葉の持つ力、そして心に訴える演説が人々に対して与える影響力の大きさを十分知りつくした大統領の姿を見てとることができる。実際には、意識的にせよ無意識にせよ、多くの政治家が、何らかの形で歴史を引き合いに出すことで、自らの言動に正当性や権威づけを行い、有権者からの支持を得ようとしているのである。こうした観点に立った研究は盛んになりつつあり、特に政策決定プロセスの分析には有効なアプローチのひとつであろう。また、政策決定を行う政治家自身も、歴史についてもっと学ぶ必要はあろう。外交上の危機が発生した場合、また愛国主義やナショナリズムが急激な高まりを見せた場合など、歴史的知見が役立つ場面は多いと言えるだろう。

Australian Government　豪日交流基金 Australia-Japan FOUNDATION